

えりもしゃくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525
http://www.town.erimo.lg.jp/section/

**えりも型地域学校（コミュニティー・スクール）をはじめます
教育を学校だけに任せず、一層、
地域が力になって子どもたちを育
てます**

- ・「えりもの子はえりもで育てる」を基本理念に、地域と学校が一体となって「えりもの子」の成長を支える学校づくりをめざします。
- ・これまで、学校は学校評議員会制度のもとで、学校評議員から学校の教育活動に理解と意見をいただいていた。
- ・これからはその制度が廃止され、学校運営協議会制度として委員をお願いし、学校経営方針の承認や主体的な支援など、学校と地域がより役割を分担し、子どもたちを育てることをめざします。
- ・今年度は、「体制づくり」と「何を指すかの理解を図ること」を重点に進めます。

□ねらい

・「えりも型地域学校」は、地域住民等が学校運営に参画し、学校を応援する仕組みです。

① ② ③

- ①**参画**～話し合い（熟議）により、地域の子どもの課題や目標などを共有し、主体的に学校の教育活動に参加し、アイデア（計画）なども出します。
- ②**応援する**～教育を学校だけに任せず、学校と地域が一体となり、子どもたちを育てます。
- ③**仕組み**～地域住民や教職員の代表などを委員とする「学校運営協議会」をつくります。（教育委員会の規則で設置）

「学校運営協議会」の機能

- ◎校長が作成する学校運営の基本方針を承認します（必須）
 - ・学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができます（任意）
 - ・教職員の任用に関して、教育委員会に意見を述べるができます（任意）

※「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正案では、学校運営協議会が「学校運営に必要な支援について協議する機関」であることが明記されています。

ステップ1

学校運営協議会規則をつくります

・教育委員会は、教育委員会規則として「学校運営協議会規則」を作成します。

ステップ2（本年度の重点です）

組織と体制をつくります

・教育委員会は、対象校の学校運営協議会委員

を任命します。

- ・既存の組織や仕組みをベースにするなど、推進体制を構築します。

ステップ3（来年度の重点です）

「熟議」（話し合い）により、目標を共有します

- ・学校と地域の人々（保護者・地域住民）との「熟議」により、子育てのビジョンや課題を共有し、活動の方向性を決めます。

「えりも町地域学校推進委員会」の役割 ～えりも町独自の組織です～

- ◎各学校の学校運営協議会の適正な運営に向けて支援を行うとともに、全町的な取組の推進に当たります。特に、次のようなことを担います。

- ①地域学校及び学校運営協議会の状況把握と支援
- ②地域学校を運営するために必要な人材の検討・支援
- ③その他、目的の実現に必要なと思われることを協議し全町的な取組となる支援

えりも町地域学校推進委員会のメンバーは、次の方々をお願いしました。

川村健太 氏

（社会教育関係 青年団体連盟）

坂田成哉 氏

（社会教育関係 社会教育委員）

藤井祐二 氏

（社会教育関係 青少年健全育成会）

木下 泉 氏

（学識経験者 元北海道教育行政モニター）

**未来えりも学 防災教育
地域の人々の意識が変わってきました
『一日防災地域学校』**

今年度はえりも町が『北海道実践的安全教育モデル地域構築』の指定を受け、東洋小をモデル校として全校で取り組んでいます

- 平成23年3月11日の東日本大震災。津波が押し寄せた映像は、今も記憶に残っていることと思います。
- 大地震や津波は、えりも町でもいつ来るかわかりません。そのための心構えや様々な状況に対処できるよう、訓練が何より大切です。
- そこで町内の学校では、昨年度、北海道の事業に合わせて小学校5校が実施し、指導に当たる先生方の積極的な取組の甲斐あって児童もしっかり学びました。
- 特に、全ての学校で自治会の皆さんが参加して行われ、この取組を通して地域が子供たちを見守り、子どもたちが高齢者と触れ合う意義ある取組となっています。
- 本年度は、全ての学校で児童生徒をどのように保護者に引き渡すかの計画を立案、実践することを重点としています。

○各学校の実施日

- ・ 笛舞小 5月21日 (火)
- ・ えりも岬小 5月22日 (水)
- ・ えりも小 5月30日 (木)
- ・ 庶野小 6月21日 (金)
- ・ 東洋小 9月25日 (水)
- ・ えりも中 9月6日 (金)
- ・ えりも高 9月6日 (金)

**英語検定、漢字検定、数学検定で
学びの姿勢が変わってきています
～英検でえりも高生が2級合格7名～**

学習意欲の高揚と家庭学習習慣の定着は、児童生徒の大きな課題です。

- そこで、検定を生かして、児童生徒が具体的な級の取得目標を掲げ、さらに次の上級を挑戦する取組を通して、一層、学習意欲や家庭学習の習慣が身に付くことを願い進めています。
- 英検と漢検は3回、数検は1回実施されています。
- 検定の結果では、小学生、中・高生の受験者数や合格者数も年々増え、特に英語検定では、えりも高校生の7名が2級を取得するなど、取組に大きな成果がみられています。

受験者数と上位合格者数

●英語検定

- 小学生 4名～4級2名
- 中学生 29名～準2級1名、3級5名
- 高校生 38名～2級7名、準2級6名

その他の検定

●漢字検定

- 小学生 36名～5級5名
- 中学生 38名～2級2名、準2級5名
- 高校生 37名～2級2名、準2級7名

●数学検定

- 小学生 12名～8級3名
- 高校生 3名～準2級1名

**えりも中・えりも高校が優秀団体賞
平成30年度実用英語技能検定で、全道で9校
の1校として素晴らしい賞を受賞しました**

- ・当町では、これまでえりも高校生のみが実施していましたが、3年前から小学生にまで広げ、英語や漢字、数学検定を実施しています。
- ・特に、平成29年度からは、受講者の枠を小学生にも広げ、それまで高校生までが実費で進めていましたが、受講者全てを半額補助として進めています。



平成29年度は、えりも高校が受験者取得率部門で優秀な成績を収め「優秀団体賞」をいただきました。

- 平成30年度は、全国213校、全道9校が選ばれた「優秀団体賞」(受験者数部門)で「えりも中・えりも高校」も受賞しました。



全国 213 校
全道 9 校に
選ばれた優
秀団体賞